

利他の精神



お蚕の火を消さんように



里山の自然と共に暮らしてきた先人たちの知恵や心を未来につなぐ
みのかも定住自立圏 高校生『聞き書き』

聞き手の高校生を募集します！

コンビニやスーパーがなく、調理家電がなかったら、どのように食材を得て、調理しますか？
蛇口からお湯が出なかったら、お風呂はどのように沸かしますか？
テレビやインターネットがなかったら、どのように情報を得ますか？

便利が当たり前になった現代の生活では考えられないかもしれませんが、これは数十年前、高校生の皆さんのおじいちゃん、おばあちゃんよりも少し上の年代の方たちが経験していた暮らしです。人々は知恵を出し合い、助け合いながら、食べ物も道具も里山の自然の恵みを活用して暮らしてきました。

美濃加茂市、川辺町、白川町、東白川村では、このような里山の自然の中で暮らしてきた方にお話を聞き、そのお話を作品化する「聞き書き」という活動を行っています。令和5年度は初めて、地元高校生の皆さんを対象に実施します。

「聞き書き」を経験した高校生は、地域のこと、自分の将来のこと、日々の暮らしのことなど様々なことを考え、視野が広がったと言います。進路を考えるこれからの時期に「自分はどう生きるべきか」、そんな生き方のヒントも得られるかもしれません。

*写真は全国の高校生を対象に実施している「聞き書き甲子園」のもので、
写真と共に書かれている言葉は、高校生が話し手の言葉から印象に残ったものを抜粋しました。



時代と共に変わらなければ
ならない

どんなことでも、努力したら、
努力しただけの成果が出る



「聞き書き」の背景

自然と共生し、物を丁寧に活用してきた暮らしから、大量生産・大量消費の暮らしへ。人々の価値観や暮らしは、1960年代の高度経済成長期以後、大きく変化しました。料理や暖をとるのに欠かせないものだった薪や炭は、石油や石炭などの化石燃料に。木や竹を材料としていた家具や食器などの道具は、プラスチック製品のものが多くなりました。その結果、地球温暖化や気候変動、環境問題など深刻な問題を引き起こすきっかけとなりました。今、「現代の暮らしは持続不可能なのではないか」と多くの人が気づき始めています。ではどうすれば持続可能になるのでしょうか。そのヒントは、今もなお、昔からの知恵や工夫が息づいている、里山とともにある暮らしの中に見つけることができるかもしれません。私たち日本人がはるか昔から暮らし続けることができたのは、日本に豊かな自然があり、その自然を最大限に活用する知恵や技術の集積があったからです。そんな暮らしを受け継いでいる人生の先輩に、じっくり話を聞いてみましょう。高校生の皆さんが経験したこともない、暮らしの知恵や技術、精神を学ぶことができるでしょう。



「聞き書き」をやってみよう

「聞き書き」の基本は、「聞く」というコミュニケーションです。高校生の皆さんは、話し手の自宅を訪ね、一対一で対話をします。二人の対話を録音し、一字一句、書き起こします。そして、話し手の語り口を生かしながら整理、自分の言葉は削って、話し手の一人語りの文体にまとめていきます。その過程で高校生の皆さんは、話し手の言葉を何度も反すうします。話し手が語る昔の暮らしのことは、はじめは「他人事」かもしれませんが。しかし、作品をまとめる過程で、話し手への共感や経緯と共に「自分事」に変わっていくでしょう。



「聞き書き」に参加するとどんな変化があるの？

視野が広がる

未来を考えるヒントを得る

自分と向き合う

今のように物がなかった時代に、その土地の気候や風土と上手に付き合い、周囲と助け合いながら暮らしてきた知恵を学び、多様な生き方を知ること、知識や視野がぐんと広がります。また、自分自身やまちの未来を考えるヒントにもなります。

話し手との対話を何度も反すうし、その人生としっかりと向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。

話し手はどんな人？

全国で実施している「聞き書き甲子園」は森・川・海など自然に関わる仕事に長年従事する方を対象としており、「名人」と呼んでいます。前回みのかも定住自立圏で実施した際は、原木しいたけ栽培、林業、茶栽培、養蚕などの仕事に従事されてきた方が話し手となりました。

今回、実施する「聞き書き」の話し手は、仕事の内容は問わず、里山の中で自然の恵みを利用した暮らしを経験してきた、概ね60歳以上の方です。美濃加茂市、川辺町、白川町、東白川村から各2名ずつ計8名を予定しております。

聞き書き抜粋

シイタケ夫婦～聞き書き甲子園で残す65年～

聞き手：愛知県立猿投高等学校 1年 近藤 杏吾

シイタケ栽培65年！

僕は中学卒業してから、父と一緒に炭焼きをやりました。僕で3代目だね。炭焼きは28歳になるまでやった。だから、12年やったかな。その時に山にナラの木があって、それを切ってシイタケを始めたわけよ。最初は炭焼きと兼業でやっていたわけよ。だけども、だんだんと石油とガスが入って来て炭を使わなくなったから、シイタケ栽培を主にしたわけよ。黒川地区では昭和24年に黒川しいたけ組合が設立された。僕は黒川しいたけ組合に入って今年で65年間やっているんだ。僕の住んでいる黒川地区は気温の寒暖差があるから夜は冷える。冬も冷えるよ。寒いときは、マイナス12度だからね。だけど、夏場でも涼しいからキノコの質がいいわけ。だから、肉厚で質の良いシイタケができる。時間はかかるけど品物はいいわけよ。

好きだからこそ続いた仕事

商売は上手にやれば面白い。借金することもないし何とかやってこられたから。自分で辞めない限りはクビにはならないしね。とにかく質の良いものを生産コストを下げつくらないといかんわけ。いいものを作ればお客さんが絶対ついてくる。販売者から電話が来るようになるというわ。こういう仕事が好きなら、魅力はあるね。でも、好きじゃないとできないから。どんな仕事でもそうだと思うけど、頼まれて嫌々やるようなことは絶対に続かない。努力したら、努力しただけの成果が出るから楽しかったよ。

一人ではできなかったシイタケ栽培

昔は、道路も無かったで、全部歩き。妻と一緒にシイタケを背負って、持って行ったわ。その分だけでも1年食べるだけ稼げた。特に昔は夏場の生シイタケなんて無くて貴重だったわけよ。道も車も無くて持っていけなかった時もあったよ。道が出来てからは、バスに乗せて東京に出荷したんだわ。今のように配送業者がない時代だったから、箱詰めしたシイタケをバス停まで背負って運び、バスの運転手さんが駅で荷物を降ろし、駅員さんが列車に乗せてくれて、みんなの協力で東京市場まで出荷していた時もあった。今は販売店舗まで自分の車で持っていけるけどね。今はシイタケの値段が下がってしまったから1年食べていくぐらいがやっとになったわ。



【話し手プロフィール】

鈴木 廣幸（すずむら ひろゆき）さん
昭和12年7月3日生まれ（85歳）、白川町在住
職業：原木シイタケ生産・販売
*第21回聞き書き甲子園の作品から抜粋しました

過去の聞き書き作品は、
[さとやまシューレホームページ](#)にも掲載しています！



HP



Instagram

参加高校生の生の声が聞けるイベント
を開催します！！

＼聞く・書く・伝える／

「聞き書き」がつなぐまちの記憶
～聞き書き甲子園地域発表会・澁澤先生講演会～

日時：令和5年7月15日（土）
13時30分～15時45分（開場：13時00分）

会場：美濃加茂市東図書館 視聴覚ホール

参加料：無料

内容：澁澤寿一先生講演、第21回聞き書き甲子園参加高校生による経験談ほか

申込：右のQRコードからお申し込みください

*聞き書きを経験した県外の
高校生と交流もできます！
お気軽にご参加ください！



申込はこちらから

参加高校生の声


*第21回聞き書き甲子園より抜粋

「自分の知らない世界は学校で学ぶことよりもっと広いとわかりました。仕事に向き合う姿勢を目標にしたいと思える人に出会えたことを誇りに思っています。」

「自分は将来、どのような大人になるべきなのか。話し手の人生、考え方に触れて深く考えさせられました。話し手から学んだことは『とにかくやってみること』。論より証拠。百考は一行に如かず。考えるよりまずやってみろ。立ち止まっても何も始まらない。まずやってみることができる話し手のような大人になりたいと思いました。」

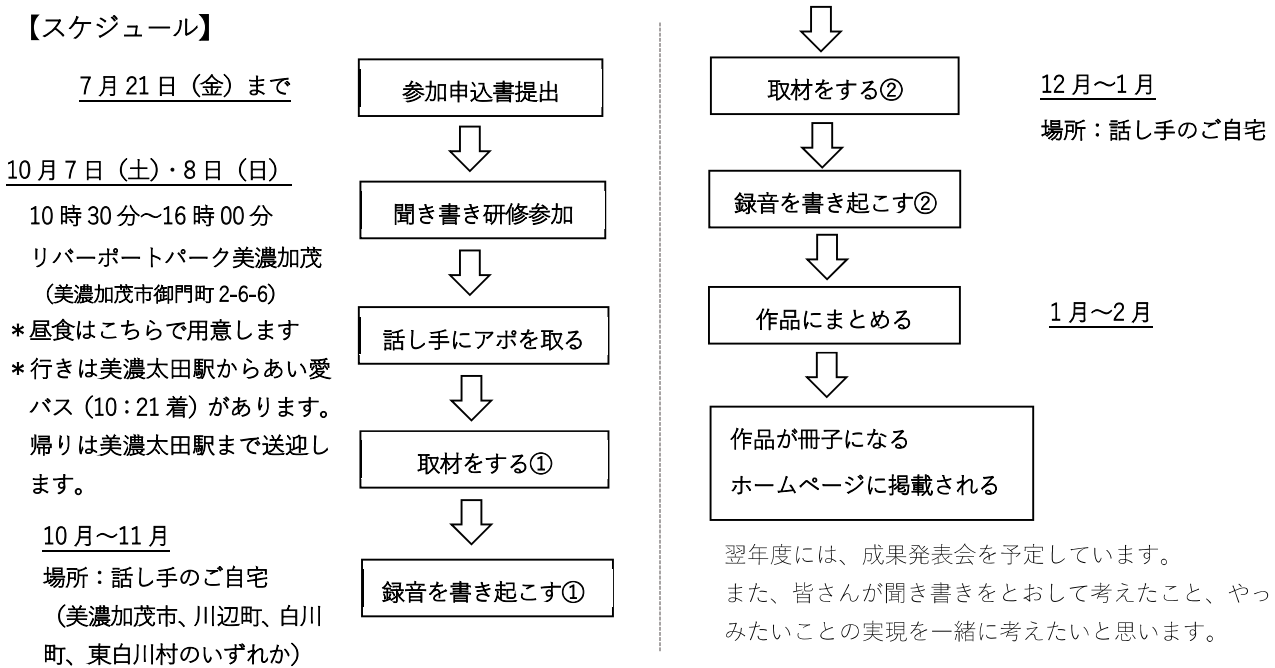
令和5年度 みのかも定住自立圏 高校生「聞き書き」募集要項

【参加資格】 岐阜県内の高校に通う高校生 【募集人数】 8名
 【参加条件】 事前研修（10/7、10/8）に参加できること。聞き書き作品を期日までに提出すること。
 【参加費用】 無料 *交通費が発生した場合は個人負担をお願いします。
 【応募方法】 右記 QR コードの申込フォームからお申し込みいただくか、下記参加申込書の内容をメールにてお送りください。送付先：machi@city.minokamo.lg.jp
 【応募〆切】 令和5年7月21日（金）
 【お問い合わせ先】 みのかも定住自立圏 高校生「聞き書き」事務局
 美濃加茂市役所まちづくり課 TEL：0574-24-0108 E-mail：machi@city.minokamo.lg.jp



申込フォーム ▶

【スケジュール】



令和5年度 みのかも定住自立圏 高校生「聞き書き」参加申込書

フリガナ		生年月日	年 月 日生（ 歳）
氏名		性別	男 女
住所	〒（ ）		
携帯番号			
E-mail			

高校名		年 組
担当教員		

応募動機	
------	--